

本 会 記 事

日本植物病理学会令和元年度第1回評議員会議事録

日 時：令和元年 11 月 16 日（土）14:30～17:00

場 所：日本植物防疫協会ビル会議室（〒114-0015 東京都北区中里 2-28-10）

出席者：

秋光和也，有江 力，一瀬勇規，岩井 久，宇垣正志，大島一里，大島研郎，景山幸二，兼松聡子，川北一人，北 宜裕，久保康之，桑田 茂，児玉基一朗，小林括平，佐藤豊三，澤田宏之，白石俊昌，高垣真喜一，高野義孝，高橋英樹，高松 進，瀧川雄一，竹下 稔，月星隆雄，柘植尚志，津田新哉，土佐幸雄，富田恭範，中島 隆，中屋敷均，夏秋啓子，夏秋知英，濱本 宏，曳地康史，平塚和之，古屋成人，眞岡哲夫，増田 税，三瀬和之，守川俊幸，渡辺京子，渡邊 健，吉川信幸，吉田重信，柘植尚志会長，有江 力副会長，大島研郎庶務幹事長
以上評議員 45 名（定員 53 名，欠席者 8 名：青木孝之，金山晋治，近藤則夫，佐野輝男，鈴木信弘，根岸寛光，古屋廣光，三富正明）

幹事・事務局出席者：足立嘉彦庶務副幹事長，久保田健嗣庶務幹事，石賀康博会計幹事，竹内香純庶務幹事，橋本将典副会計幹事，渡辺玲子事務局員，水藤早紀事務局員

開会の挨拶

I. 審議事項

1. 令和 2 年度功績者の推薦

- 委員会より名誉会員に百町満朗氏，上田一郎氏が推薦され，承認された。永年会員については該当者がなかったことが報告された。

2. 令和 2 年度論文賞の選定

- 令和 2 年度論文賞として以下の 2 報が選定されたことが報告され，承認された（筆頭著者 ABC 順）。

Mitsuhiro Aihara, Syun-ichi Urayama, Minh Tuong Le, Yu Katoh, Tomoya Higashiura, Toshiyuki Fukuhara, Tsutomu Arie, Tohru Teraoka, Ken Komatsu, Hiromitsu Moriyama. Infection by *Magnaporthe oryzae* chrysovirus 1 strain A triggers reduced virulence and pathogenic race conversion of its host fungus, *Magnaporthe oryzae*. JGPP 84(2): 92-103 (2018)

Yu Ayukawa, Ken Komatsu, Masatoki Taga, Tsutomu Arie. Cytological karyotyping of *Fusarium oxysporum* by the germ tube burst method (GTBM). JGPP 84(4): 254-261

(2018)

3. 令和 2 年度学会賞，学術奨励賞の選定

- 選考経過が報告され，学会賞に 3 名，学術奨励賞に 3 名が選出されたことが報告され，承認された。選考結果は以下の通りであった（氏名の ABC 順）。

学会賞：

平塚和之氏「防御応答遺伝子の発現制御に関する研究」
眞岡哲夫氏「ジャガイモ重要病害虫の診断と防除に関する研究」

津田新哉氏「植物ウイルス病の発病機構と防除に関する研究」

学術奨励賞：

荒添貴之氏「植物病原糸状菌ゲノム編集技術の開発」
浅井秀太氏「卵菌綱植物病原菌の感染機構に関する研究」
峯 彰氏「病原細菌に対する植物免疫シグナリングネットワークの動態研究」

4. 令和 2 年度日本農学賞推薦者の選定について

- 選考経過が報告され，日本農学賞推薦者に露無慎二氏が内定したことが報告され，承認された。

5. 令和 3 年度大会開催地について

- 令和 3 年度大会を三重県津市において開催することが提案され，承認された（会場：総合文化センター）。

6. 令和 3 年度教育プログラム開催地について

- 令和 3 年度の教育プログラムを秋田県立大学にて開催することが提案され，承認された。令和 2 年度は ACP2020 のため開催しないことが報告された。

7. 法人規程案・規則案について

- 法人規程案・細則案について説明され，承認された。3 月の定期総会に諮ることが説明された。

8. 法人化スケジュールについて

- 法人化スケジュールについて予定通り進められていることが報告された。

- 2019 年度の会計処理と予算案，法人への移行について説明された。

9. 法人化後の学会大会開催時期について

- 法人化後の大会・総会の日程について，税務申告等の都合上，開催時期を 3 月に固定することが提案され，承認された。

10. 法人化後の部会，談話会および研究会の会計取り扱いについて

- 法人化後の部会・談話会・研究会の会計年度は 1～12 月

とし、学会会計の一部として単年度会計として処理することが確認された。

11. 賛助会員の学会大会への招待について

- ・招待者を賛助会員あたり一名とすることについて提案され、承認された。

12. 総会の進め方について

- ・令和2年度定期総会の進め方について説明があり、定期総会資料に「III. 日本植物病理学会の法人化について」の項目を設けることが提案され、承認された。
- ・令和2年度大会および定期総会は任意団体が開催すること、任意団体の解散は6月を目安とすることについて説明することが提案され、承認された。

II. 報告事項

1. 令和2～3年度評議員・会計監査および令和2年度副会長選挙結果の報告

- ・評議員選挙の結果が報告された。令和2年度副会長に土佐幸雄氏が選出されたことが報告された。
- ・令和2・3年度会計監査（法人化後の監事）に濱本宏氏、渡辺京子氏、夏秋啓子氏が選出されたことが報告された。

2. 日本農学進歩賞の受賞者の報告

- ・本学会が推薦した晝間敬氏の受賞が決定したことが報告された。
- ・授賞式、受賞講演及び祝賀会が11月22日に東京大学農学部弥生講堂で予定されていることが報告された。

3. 令和元年度大会・部会・研究会・談話会報告

- ・予定されていた各会はすべて予定通り終了したことが報告された。

4. 令和2年度大会案内

- ・令和2年3月19～21日にかごしま県民交流センターで開催予定であること、令和元年12月6日から大会参加登録が開始されること、発表申し込みが令和元年1月8日、参加切が2月7日になることが報告された。

5. ACPP2020開催準備状況

- ・令和2年9月15～18日につくば国際会議場で開催予定であること、農林水産省等の後援が承認済みであることが報告された。令和2年9月14日に同会場にて日韓合同シンポジウムが開催予定であることが報告された。

6. 編集委員会報告

- ・2018年1～10月受付分の投稿原稿数として、英文誌240本（受理率18.69%）、和文誌11本（同66.67%）であることが報告された。
- ・2018年のJGPPのImpact Factorが0.887であることが報告された。

- ・投稿から掲載までの迅速化について要望があった。

7. 病名委員会報告

- ・日本植物病名データベースからのデータ提供の状況および病名目録編集・公開の状況について報告された。2019年4月版病名目録を作成し、ホームページにて一般公開したことが報告された。

8. JGPP 85巻3・4号冊子体について

- ・JGPP 85巻3号冊子体に続き、85巻4号冊子体についてもカラー印刷を希望された論文が白黒印刷となるミスが発生したため、冊子体を再印刷、再発送することになった経緯について説明された。両冊子体とも1回目の郵送料をスプリンガーが負担することが報告された。過去に遡り確認依頼したところ、過去にはミスはないとの連絡があった旨報告された。

9. 日本微生物学連盟「野本賞」について

- ・本賞への積極的な推薦および応募について依頼された。

10. 日本植物防疫協会による3学会運営の支援体制の見直しについて

- ・協会には引き続き運営支援していただくよう要請しており、これまでの業務を整理して、今後の方針について検討が進められている旨報告された。

11. 日本農学会報告

- ・2019年度第2回日本農学会運営委員会が9月2日に東京大学農学部において開催され、日本農学賞のスケジュールについて報告された。来年度のシンポジウムのテーマは「水と農学」であることが報告された。

12. 日本植物保護科学連合報告

- ・11月30日に、東京大学農学部において「持続可能な百寿社会に貢献する植物保護科学」のテーマで開催され、本学会からは岩波徹氏が講演すること、開催案内について学会HPからリンクを掲載したことが報告された。

13. 国際化対応委員会報告

- ・日本植物病理学会/オーストラリア植物病理学会間の協定に基づく学生会員交換事業について、来年度ACPP2020の開催にあわせ、オーストラリアから受け入れる方向で調整中であることが報告された。

14. 男女共同参画推進委員会報告

- ・男女共同参画学協会連絡会に本学会における女性会員の割合（学会会員全体では16%、学生会員では44%）を報告したことが説明された。

15. 技術士対応委員会・五学会技術士育成推進委員会報告

- ・3月20日に開催される技術士試験対策セミナーへの積極的な参加依頼があった。

16. その他

・第19回国際植物保護会議（開催地：インド ハイデラバード，開催期間：11月10日-15日）について，参加者数600名であったこと，本学会から7名の参加者があったこと，次回の開催予定地はギリシャ・アテネであることが報告された．会議においてACPP2020の紹介を行ったことが報告された．なお，本学会の2名の学生会員が，本学会が分担金を支出している国際植物保護科学会議北アジア地区から渡航補助を受けた．

2019年度第3回日本農学会運営委員会議事録

日時：2019年12月2日（月）15時より

場所：東京大学弥生講堂アネックスセイホクギャラリー

出席者：

西澤直子会長，大杉立副会長，渡部終五副会長，與語靖洋監事，矢部和弘（シス農），松下範久（樹木医），中村英光（植調/農薬），龍原 哲（森計），高橋輝昌（森立/芝草），山田伊澄（地域経（代）），野村昌史（応動昆），清水 徹（海水（代）），飯森文平（国地開），太田能之（家禽），青木直大（作物/育種（代）），勝間 進（蚕糸（代）），春原由香里（雑草），中川貴之（獣医），大島研郎（植病），玉井幸治（森林），渡邊壮一（水産），塩出大輔（木工），安永円理子（生環），齋藤勝晴（草地），山内啓太郎（畜産），渡邊 学（動遺育），大塚重人（土肥），染谷信孝（土微/園芸（代）），上吉原裕亮（熱農（代）），丸山篤志（気象），澤田 守（経営），関根久子（農経），小原 均（農作），杉浦幸二（繁殖），齋藤継之（木材），大山利男（有機（代）），五月女格（食料工），荒木徹也（農施），石神靖弘（農情），落合 陽（木質/木加工（代）），柴崎茂光（林経）

欠席者：

大山卓爾監事，杉原たまえ（実農），伏信進矢（応糖），土肥哲也（生態），松村一善（砂丘），山本清龍（造園），浅見忠男（農化），渋谷往男（フード），中塚博子（ペドロ），吉田修一郎（農村工），八木洋憲（農計），黒住圭子（事務担当）

議長：西澤会長

進行：安永庶務担当常任委員

議事：

1. 2019年度第2回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について
2. 2019年度事業報告（案）
3. 2019年度収支決算報告（案）
4. 2020年度事業計画（案）
 - (1) 2020年度シンポジウム実施計画（案）

5. 2020年度収支予算計画（案）
6. 役員選挙にともなう役員候補者推薦について
7. 2020年度社員総会および日本農学賞選考会について
8. 2020年度会員（学協会代表者）・運営委員・常任委員について
9. 2020年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順
10. 読売新聞社との面談の報告
11. その他
 - 1) 公益法人化について
 - 2) ホームページの英語版について

西澤会長挨拶：

お足元の悪い中でのご参加に対する御礼と，多くの報告や推薦学会発表順の決定などにご協力お願いしたい旨の挨拶があった．

議事1. 2019年度第2回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について

安永庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった．

議事2. 2019年度事業報告（案）について

安永庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった．

議事3. 2019年度収支決算報告（案）について

塩出会計担当常任委員より資料に基づき説明があった．

議事4. 2020年度事業計画（案）について

安永庶務担当常任委員より資料に基づき，第91回日本農学会大会の開催，2020年度日本農学会シンポジウムの開催，2019年度日本農学会シンポジウム講演要旨の公開，農学会2020年第19回日本農学進歩賞の共催，各委員会の開催，その他関連シンポジウムへの後援について説明があった．

(1) 2020年度シンポジウム実施計画（案）について

渡邊企画担当常任委員よりシンポジウムの実施計画について資料に基づいた詳細な説明があった．現時点で6学会からの話題提供があり，それに基づき計画を進めつつ「水と農学」という幅広いテーマであることから，人文・経済面から「ウォーターフットプリント」についてなど，より身近なテーマとして「食と水」についての話題提供も検討，募集したいとの説明があった．

また，安永庶務担当常任委員から，4月5日の農学会でのパネルディスカッションについて，若手の学生，研究者，教員により参加してもらえよう各学協会から動員の働きかけをお願いしたい旨と，副題をつけるなど若手の方々へのアピールを行いたい旨報告があった．

議事5. 2020年度収支予算計画（案）について

塩出会計担当常任委員より資料に基づき説明があった．

議事 6. 役員選挙にともなう役員候補者推薦について

安永庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり、「次期会長・副会長」から「次期理事（会長・副会長）」へ文面を修正して推薦依頼することの追加説明がなされた。

議事 7. 2020年度社員総会および日本農学賞選考会について

安永庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり、選考会の開始時間が昨年度の12:30から13:00に変更になった点への注意がなされた。

議事 8. 2020年度会員（学協会代表者）・運営委員・常任委員について

安永庶務担当常任委員より資料に基づき、会員、運営委員および2020年度の常任委員担当学会について報告があった。

議事 9. 2020年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順について

安永庶務担当常任委員より口頭にて説明があった後、厳正な抽選により以下のように推薦学会の発表順が決定された。

発表順

1. 農業食料工学会
2. (一社) 日本土壌肥料学会
3. (公社) 日本畜産学会 / (公社) 日本繁殖生物学会
4. 日本植物病理学会
5. (一社) 日本森林学会
6. (一社) 日本応用糖質科学会

7. (公社) 日本農芸化学会

8. (一社) 日本蚕糸学会

9. 日本農業経営学会 / 農業情報学会

10. (公社) 農業農村工学会

11. 日本海水学会

12. 日本生物環境工学会

13. 日本作物学会

14. (一社) 園芸学会

15. (公社) 日本水産学会

16. 日本農業気象学会

議事 10. 読売新聞社との面談の報告について

西澤会長より口頭にて報告があった。

議事 11. その他

1) 公益法人化について

安永庶務担当常任委員より日本農学会の現状や公益社団法人化の方向性について口頭にて説明がなされた。法人の所在地をどこに決定するのかについて、過去の一般社団法人化の際に問題になったはずとの質問がなされたが（日本畜産学会・山内先生）、その問題は一般社団法人化の際にクリアしていると考えられ今後問題になるようであれば検討する（渡部副会長）との回答がなされた。今後進捗について報告することとした。

2) ホームページの英語版について

中川庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。